

平成24年度九州大学大学院法学府
修士課程入学試験問題（秋季）

行政学

以下の2つの問いに答えなさい（両問とも答えること）。

1. 「政策実施研究とはどのようなものか」、「その行政学上の意義（重要性）はどのような点に求められるのか」について論じなさい。

2. 次の二人の会話について論評しなさい。

A「各地の首長選挙をみると、かなり乱暴なマニフェストを掲げて当選しているケースが少なくない。十分な検証もないまま、思いつきのような政策が数値目標とセットでマニフェストに並んでいるわけだ。これは、大いに問題だと思うな。」

B「それは同感だ。」

A「だが、それ以上に問題だと思うのは、『それで構わない。面倒なことは政治に決めてもらって、自分たちはそれに従って粛々と仕事をする方がいい』といった感想を述べる自治体職員が少なくないことだ。」

B「その点は同意しかねるな。その何が問題なのだ？『政治が決めたことに行政が従う』というのは民主主義の基本だろう？」

A「いや、それはそうだが…。」

B「わが国の政治行政における最大の問題点は、『中央、地方を問わず、“公共性の空間”を官（＝行政）が独占してきたこと』にあるのであって、そのことからすれば、『政治が決めたことに行政職員が粛々と従う』というのはむしろ好ましいことだと思うな。」